

施策分析シート（令和元年度）

No1

施策名	交通安全対策の推進	施策No	11-05	部課名	区民生活部生活安全課
				課長名	菊池 内線 489

関連部課名	防災都市づくり部道路公園課				
-------	---------------	--	--	--	--

行政評価	分野	VI	安全安心都市		
事業体系	政策	11	防災・防犯のまちづくり		

目的  
区内警察署・交通安全協会・民間団体等と連携・協力し、交通安全運動を効果的に展開し、交通ルールの遵守・マナーの向上を図り、交通事故のない安全で安心なまちを目指す。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		28年度	29年度	30年度	
①	交通安全性	2.54	2.58	2.56	お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じますか？
②	安全・安心の実感	2.68	2.67	2.60	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？
③					
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
①	交通事故件数（件）	333	403	421	400	300	警視庁交通部「東京の交通事故」より（1月～12月）
②	自転車関与と事故件数（件）	148	209	230	200	150	警視庁HP「都内自転車の交通事故発生状況」より
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
給与関係費	29,886	35,411	5,525	地方税	0	0	0		
物件費	4,966	6,496	1,530	国庫支出金	5,665	4,400	▲ 1,265		
維持補修費	31,957	40,979	9,022	都支支出金	0	0	0		
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0		
補助費等	3,920	3,920	0	使用料及び手数料	0	0	0		
減価償却費	315	0	▲ 315	その他	0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,665	4,400	▲ 1,265		
賞与・退職給与引当金繰入額	3,865	2,449	▲ 1,416	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 81,046	▲ 94,281	▲ 13,235		
その他行政費用	11,802	9,426	▲ 2,376	金融収支差額(d)	0	0	0		
行政費用合計(b)	86,711	98,681	11,970	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 81,046	▲ 94,281	▲ 13,235		
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 81,046	▲ 94,281	▲ 13,235		

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
流動資産	0	0	0	還付未済金	0	0	0		
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0		
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,220	1,596	376		
有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0		
土地	0	0	0	固定負債	16,818	15,582	▲ 1,236		
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0		
建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	16,818	15,582	▲ 1,236		
工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0		
工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	18,038	17,178	▲ 860		
無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 18,038	▲ 17,178	860		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 18,038	▲ 17,178	860		
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0		
資産の部合計	0	0	0						

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用として、給与関係費、維持補修費、物件費の割合が高くなっており、物件費は主に交通安全啓発事業の一般需用費が占めている。前年度と比較すると、物件費は3割程度増えているが、これは、啓発活動の充実に伴う啓発用品の購入数増加によるものである。  
 ○維持補修費についても、3割程度増えているが、これは、道路案内標識整備工事や自転車安全対策整備等の事業を実施したことによるものである。  
 ○その他行政費用は、主に交差点における地点名標識等の設置工事にかかるものである。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○区内の交通事故件数は減少傾向で推移しており、平成30年の交通事故件数は23区中二番目に少ない。令和元年6月現在は23区で最少となっている。</p> <p>○一方で、交通事故総件数に占める自転車関与事故、高齢者関与事故が占める割合が高い。特に自転車関与事故については、全体の半数以上を占めている。</p> <p>○一部の自転車利用者において、歩道でのスピードの出し過ぎや、車道の逆走、スマートフォン等ながら運転などの交通ルール違反が見受けられる。</p>
課題	<p>○子ども乗せ自転車や高齢者が運転する自転車の一部において、交通ルール違反やマナーの欠如が目立っており、対策を充実していく必要がある。</p> <p>○自転車関与事故や高齢者関与事故など、特に関与率が高い交通事故について、より一層の対策が必要である。</p>
今後の方向性	<p>○ソフト面では、基本的な交通ルールを広報紙やケーブルテレビ、都電チャンネルなど様々な媒体で引き続き周知・啓発していくほか、区内警察署や警視庁との連携を一層充実し、保護者向け交通安全教室や高齢者が集まる会合など、引き続き自転車に関する交通ルールを再確認・再認識していただくことで交通安全意識の向上を図る機会を提供していく。</p> <p>○ハード面では、交通安全施設整備として、危険度の高い箇所から優先的に、ガードパイプ（防護柵）の設置や、通学路のグリーンベルト、自転車・歩行者ストップマーク、交差点強調表示、自転車ナビマーク等の路面標示など、交通事故防止に向けた取組を区全体で重層的に実施していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
元年度	2年度	
推進	推進	交通事故を無くし、安全なまちを実現するため、今後も継続して推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
交通安全対策協議会運営	04-06-03	5,623	6,822	243	259	推進	推進	交通安全に関する総合的施策を協議し、効果的に交通安全運動を推進するため、重要な協議会である。
交通安全協会補助	04-06-04	5,457	5,378	3,920	3,920	推進	推進	交通安全協会は地域に根差した交通安全啓発活動の中心的役割を果たしており、今後益々の活動が望まれる。
交通安全啓発	04-06-05	19,779	20,261	4,861	6,405	推進	推進	交通安全意識の醸成を図り、区内で特に割合が高い自転車関与事故、高齢者関与事故、子ども関与事故件数を削減するために、重要な取組である。
荷さばき駐車場設置	04-06-07	2,389	1,538	83	80	継続	継続	継続して実施していく。
交通安全施設整備事業	11-04-08	53,463	64,681	43,760	50,406	推進	推進	区民の交通安全を確保するうえで必要な事業であるため、推進する。
合計		86,711	98,680	52,867	61,070			